

No.	目	科	種名	学名	平成30年度時点の情報				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	移動種 国内移動、島嶼間	その他情報			沖縄県における区分	
					移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】									島名	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島										
1	アロワナ	アロワナ	シルバーアロワナ	<i>Osteoglossum bicirrhosum</i>	○			沖縄島	1996年に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。那覇市において再生産している可能性が報告されている。	(10), 2), 9)	○					対策種		
2	ウナギ	ウナギ	ヨーロッパウナギ	<i>Anguilla anguilla</i>	(○)			沖縄島	1977年、1985年の報告 我部祖河川で確認。	(12), 10)	○					区分外		
3	コイ	コイ	オオタナゴ	<i>Acheliognathus macropterus</i>	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	●				予防種		
4			ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	○			沖縄島	1972～1973年に台湾から導入。遊漁目的として導入されたと考えられる。	(12), 10), 1)	○						対策種	
5			フナ(ギンブナ)	<i>Carassius sp.</i>	○	○	○	○	沖縄島、渡嘉敷島、座間味島、久米島、伊平屋島、伊是名島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島、南大東島	19世紀以前に導入。養殖目的、あるいはゲンゴロウブナ導入時に付随した可能性が指摘されている。ヒブナやキンギョ等も含む。一部の個体群は在来の可能性があるが、現在の個体群には中国からの移入個体群が含まれる。	(12), 10), 5), 1)	○					区分外	
6			ナガブナ	<i>Carassius buergi ssp. 1</i>	(○)	-	-	-	沖縄島	本州原産。我部祖河川水系、国場川水系、龍潭などで確認。	(12)	△						区分外
7			ハクレン	<i>Hypophthalmichthys molitrix</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	●					予防種
8			コクレン	<i>Aristichthys nobilis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	●					予防種
9			ソウギョ	<i>Crenopharyngo don idellus</i>	(○)				沖縄島、久米島	久米島では1990年以降の記録なし。利根川水系以外では自然繁殖がないと考えられている。南風原ダムで確認。	(12), 10), 5), 1), 6)	△	●					予防種
10			アオウオ	<i>Mylopharyngodon piceus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	●					予防種
11			レッドホースミノ	<i>Cyprinella lutrensis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	●					予防種
12			コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	○	○		○	沖縄島、久米島、粟国島、伊平屋島、石垣島、西表島、与那国島、南大東島	19世紀以前に導入。久米島は明治37年に移植。養殖目的、また観賞用品種も確認されている。国内外から移植された可能性が高いと考えられている。	(12), 10), 8), 5), 4)	○	●	国内移動?				対策種
13	パールダニオ	<i>Danio albolineatus</i>	○				沖縄島	2000年に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。	(12), 0), 5), 2)	○	●					対策種		
14	ゼブラダニオ	<i>Danio reio</i>	○				沖縄島	2000年に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。	(12), 10), 5), 2)	○	●					対策種		
15	ハス	<i>Opsarichthys uncirostris uncirostris</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	●					予防種		
16	モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	○				沖縄島	1975年に初確認。コイやアユ等に付随して侵入したと考えられる。	(12), 10), 5), 1)	○	●	国内移動?				対策種		
17	タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	●					予防種		
18	アカヒレ	<i>Tanichthys albonubes</i>	○				沖縄島	1989年に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。	(11), 10), 5), 2)	○	●					対策種		
19	ドジョウ	カラドジョウ	<i>Paramisgurnus dabryanus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	●				予防種		
20			レッドテイルボーシヤ、レッドフィンボティア	<i>Yasuhikotakia modesta</i>	(○)			沖縄島	2003年に確認。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。定着は確認されていない。国場川で確認。	(12), 10), 2)	△	●					区分外	
21	カラシン	カラシン科の一種	<i>Metynis sp.</i>	(○)			沖縄島	1990年代に確認。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。定着は確認されていない。	(10), 5), 2)	△	●					区分外		
22			<i>Piaractus sp.</i>	(○)			沖縄島	1996年に確認。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。定着していないと考えられる。	(10), 2)	△	●					区分外		
23			コロソマ類	<i>Colossoma macropomum</i>	(○)			沖縄島	天願川、千原池で確認。	(12)	△	●					区分外	

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】				島名	備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	移動 在来種の国内移動、島嶼間	その他情報			沖縄県における区分
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島							特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種	
24			ブエノスアイレステトラ	<i>Hyphessobrycon anisitsi</i>	(○)	-	-	-	沖縄島	宜野湾海浜公園で確認。	12)	△						区分外
25			ブラックテトラ	<i>Gymnocorymbus ternetzi</i>	(○)	-	-	-	沖縄島	龍潭で確認。	12)	△						区分外
26			メティニス類	<i>Metynnis</i>						確認場所は不明。定着は確認されていない。	12)	△						区分外
27			ピラニアナツテリ	<i>Pygocentrus nattereri</i>	(○)				沖縄島	金武ダムで確認。	12)	△						区分外
28			ダイヤモンドイェローピラニア	<i>Serrasalmus gibbus</i>	(○)				沖縄島	定着は確認されていない。観賞魚の遺棄による侵入と考えられている。ピラニア類。	12), 10)	△						区分外
29	ナマズ	アメリカナマズ	ブラウンブルヘッド	<i>Ameiurus nebulosus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	侵入予防外来種		●			予防種
30			チャネルキャットフィッシュ(アメリカナマズ)	<i>Ictalurus punctatus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	緊急対策外来種		●			予防種
31			フラットヘッドキャットフィッシュ	<i>Pylodictis olivaris</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	侵入予防外来種		●			予防種
32		ヒレナマズ	ウォーキングキャットフィッシュ	<i>Clarias batrachus</i>	○				沖縄島	2004年に導入。南風原池で仔稚魚が確認されている。	12), 10), 5), 9)	○	その他の総合対策外来種		●			対策種
33		ヒレナマズ	ヒレナマズ	<i>Clarias fuscus</i>	(○)			(○)	石垣島	1960年代に台湾から石垣島に導入。個体数は減少傾向。近年は見つかっていない。おそらくいない(専門家意見)	10), 2), 1)	△	その他の総合対策外来種					対策種
34		ロリカリア	スノープレコ	<i>Pterygoplichthys anisitsi</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。ただし、沖縄島のプレコ類が本種である可能性が指摘されている。	12)	×	その他の総合対策外来種					予防種
35			マダラロリカリア	<i>Pterygoplichthys disjunctivus</i>	○		○		沖縄島、久米島、宮古島	1985年頃から沖縄島でみられるようになった。	12), 10), 5), 2), 3)	○	その他の総合対策外来種					対策種
36			オリノコセイルフィンキャットフィッシュ	<i>Pterygoplichthys multiradiatus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。ただし、沖縄島のプレコ類が本種である可能性が指摘されている。	12)	×	その他の定着予防外来種					予防種
37			アマゾンセイルフィンキャットフィッシュ	<i>Pterygoplichthys pardalis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。ただし、沖縄島のプレコ類が本種である可能性が指摘されている。	12)	×	その他の総合対策外来種					対策種
38		カツリクチュス	コリドラスアエネウス	<i>Corydoras aeneus</i>	(○)				沖縄島	定着は確認されていない。那覇市開南の水路で確認。	12), 10)	△						区分外
39			コリドラスパレオトウス	<i>Corydoras paleatus</i>	(○)				沖縄島	定着は確認されていない。那覇市開南の水路で確認。	12), 10)	△						区分外
40		ナマズ	ヨーロッパナマズ	<i>Silurus glanis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の定着予防外来種		●			予防種
41		ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	-	-	-	-		千原池で確認。	12)	△						区分外
42		ギギ	コウライギギ	<i>Pseudobagrus fulvidraco</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の総合対策外来種		●			予防種
43	サケ	アユ	リュウキュウアユ	<i>Plecoglossus altivelis ryukyuensis</i>	○				沖縄島	1992年から再導入(沖縄島の在来個体群は1970年代末に絶滅)	12), 10), 5)	○	再導入					区分外
44		サケ	ニジマス	<i>Parasalmon mykiss</i>	(○)				沖縄島	定着は確認されていない。	10), 5)	△	産業管理外来種		●	●		区分外
45			ブラウントラウト	<i>Salmo trutta</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	産業管理外来種		●	●		区分外
46			カワマス	<i>Salvelinus fontinalis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の総合対策外来種					予防種
47			レイクトラウト	<i>Salvelinus namaycush</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	産業管理外来種					区分外
48	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>	○	○	○	○	伊平屋島、伊是名島、沖縄島、伊江島、座間味島、粟国島、久米島、宮古島、池間島、伊良部島、石垣島、西表島、竹富島、小浜島、波照間島、与那国島、南大東島	1919年に台湾を経由して石垣島に導入。生物防除を目的に導入。	12), 10), 8), 5), 2), 1)	○	重点対策外来種		●	●	●	対策種
49			ガンブシア・ホルブローキ	<i>Gambusia holbrooki</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の定着予防外来種		●			予防種

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	移動種 国内移動、島嶼間	その他情報			沖縄県における区分	
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島						島名	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
50			グッピー	<i>Poecilia reticulata</i>	○	○	○	○	伊平屋島、伊是名島、沖縄島、座間味島、渡嘉敷島、慶留間島、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島、北大東島、南大東島	1960年代に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。米軍では生物駆除を目的に、放流されたと考えられる。	(12), (10), (8), (5), (2), (1)	○					対策種	
51			セルフインモリー	<i>Poecilia velifera</i>	(○)				沖縄島	観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。定着は確認されていない。	(12), (10)	△					区分外	
52			コクチモーリー (ブラックモーリー)	<i>Poecilia sphenops</i>	(○)				沖縄島	ちゅらまち公園で確認。	(12)						区分外	
53			ソードテール (グリーンソードテール)	<i>Xiphophorus helleri</i>	○		○		沖縄島、久米島、宮古島	1960年代に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。学校の先生や生徒らによりメダカと間違えて放流されたとみられる。久米島ではボウフラ駆除目的で持ち込まれたとされる。	(12), (10), (8), (5), (2)	○					対策種	
54			ムーンフィッシュ (サザンプラティフィッシュ)	<i>Xiphophorus maculatus</i>	○			○	沖縄島、久米島、石垣島、沖永良部島	1960年代に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。	(12), (10), (8), (5), (2), (1)	○					区分外	
55			バリアタス	<i>Xiphophorus variatus</i>	○				沖縄島、久米島	観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。2015年に久米島でも確認された。沖縄島では国場川水系宮平川で確認。	(10), (8)	○					区分外	
56	ダツ	メダカ	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	○				沖縄島、座間味島、慶留間島、外地島	沖縄島: 飼育品、座間味島: 再導入、慶留間島・外地島: 移植	(12), (10), (7)	○	備考参照				区分外	
57	スズキ	タカサゴイシモチ	インディアングラスフィッシュ (インドタカサゴイシモチ)	<i>Pseudambassis ranga</i>	○				沖縄島	2000年に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。	(12), (10), (5), (2)	○					対策種	
58		サンフィッシュ	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>	○				沖縄島、久米島	1963年頃に沖縄島中部で見られるようになった。遊漁目的とする導入。	(12), (10), (8), (5), (2), (1)	○		●	●	●	対策種	
59			コクチバス	<i>Micropterus dolomieu</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×		●	●	●	予防種	
60			オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>	○				沖縄島、伊是名島、久米島	1963年頃に沖縄島中部で見られるようになった。遊漁目的とする導入。	(12), (10), (8), (5), (2), (1), (9)	○		●	●	●	対策種	
61		ニベ	ニベ科の一種 (レッドドラム)	<i>Sciaenops ocellatus</i>	(○)				沖縄島	大西洋原産であり、養殖用種苗が逸出したと考えられる。広塩性で幼魚期に陸水域を生息域として利用する。定着は確認されていない。石川川で確認。	(12), (10), (2), (9)	△					区分外	
62		アカメ	ナイルパーチ	<i>Lates niloticus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×		●	●	●	予防種	
63		モロネ	ホワイトパーチ	<i>Morone americana</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×		●	●	●	予防種	
64			ホワイトバス	<i>Morone chrysops</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×		●	●	●	予防種	
65			ストライプトバス	<i>Morone saxatilis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×		●	●	●	予防種	
66		ベルカ	ラッフ	<i>Gymnocephalus cernuus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×		●	●	●	予防種	
67			ヨーロッパンパーチ	<i>Perca fluviatilis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×		●	●	●	予防種	
68			パイクパーチ	<i>Sander lucioperca</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×		●	●	●	予防種	
69		ハゼ	ラウンドゴビー	<i>Neogobius melanostomus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×		●	●	●	予防種	
70		ケツギョ	ケツギョ	<i>Siniperca chuatsi</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×		●	●	●	予防種	
71			コウライケツギョ	<i>Siniperca scherzeri</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×		●	●	●	予防種	
72		カワスズメ	コンウイクトシクリッド (コンピクトシクリッド)	<i>Cichlasoma nigrofasciatum</i>	○				沖縄島	1989年に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。	(12), (10), (5), (2), (9)	○					対策種	
73			Amphilophus labiatus	<i>Amphilophus labiatus</i>	(○)				沖縄島	定着は確認されていない。	(10)	△					区分外	

No.	目	科	種名	学名	平成30年度時点の情報				備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	移動 在来種の国内移動、島嶼間	その他情報			沖縄県における区分	
					移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】									島名	特定外来生物	世界の侵略的外来種		日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島										
74			パロットシクリッド(カワズメ科の雑種)	<i>Amphilophus citrinellus</i> × <i>Paraneetroplus synspilus</i>	(○)			沖縄島	2009年に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。定着は確認されていない。	(10)	△					区分外		
75			アストロノータス(オスカー)	<i>Astronotus ocellatus</i>	(○)			沖縄島、久米島	定着は確認されていない。龍潭、宜野湾海浜公園で確認。	(10), 5)	△					区分外		
76			カワズメ科の一種	<i>Aulonocara</i> sp.	(○)			沖縄島	定着は確認されていない。	(10)	△					区分外		
77			カワズメ科の一種(コパディクロミス類)	<i>Copadichromis</i> sp.	○			沖縄島	侵入生物DBでは、 <i>Otopharynx lithobates</i> としている。当初 <i>Otopharynx lithobates</i> と同定されたが、その後コパディクロミス類に再同定されたとされる。属間交雑に由来した観賞魚起源と考えられており、分類について確定していない。	(12), 10), 2)	○					区分外		
78			カワズメ科の一種(ゲオファーガス類)	<i>Geophagus</i> sp.	(○)			沖縄島	定着は確認されていない。	(12), 10)	△					区分外		
79			マナゲエンス	<i>Parachromis managuensis</i>	(○)			沖縄島	定着は確認されていない。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。大城ダムで確認。	(12), 10), 2), 1)	△					区分外		
80			ジュエルフィッシュ	<i>Hemichromis</i> sp.	(○)			沖縄島	2004年に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。定着は確認されていない。	(12), 10), 2)	△					区分外		
81			カワズメ科の一種	<i>Maylandia</i> sp.	(○)			沖縄島	2007年に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。定着は確認されていない。	(10)	△					区分外		
82			ブルーティラピア	<i>Oreochromis aureus</i>	(○)			沖縄島	養殖種苗として導入。定着は確認されていない。	(10)	△	●				予防種		
83			カワズメ(交雑種を含む)	<i>Oreochromis mossambicus</i>	○	○	○	○	伊平屋島、沖縄島、渡嘉敷島、久米島、宮古島、池間島、石垣島、西表島、小浜島、与那国島、南大東島	1954年に台湾を経由して石垣島へ養殖目的で導入。沖縄島では、ほぼ全域110河川から報告されている。	(12), 10), 5), 2), 9)	○	●			対策種		
84			ナイルティラピア(交雑種を含む)	<i>Oreochromis niloticus</i>	○	○	○	○	伊是名島、沖縄島、久米島、宮古島、石垣島、与那国島、南大東島等	1960~1970年代に導入。養殖目的で日本本土から沖縄島へ導入。	(12), 10), 5), 2), 9)	○	●			対策種		
85			<i>Oreochromis urolepis hornorum</i>	<i>Oreochromis urolepis hornorum</i>	(○)			沖縄島	養殖種苗として導入。定着は確認されていない。	(10)	△					区分外		
86			カワズメ属の一種	<i>Oreochromis</i> sp.	○			○	沖縄島、石垣島	交雑種(カワズメ×ナイルティラピア)の記録と思われる。	(10)	○	●			対策種(カワズメまたはナイルティラピアとして)		
87			スポットティラピア	<i>Tilapia mariae</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	●			予防種		
88			ジルティラピア	<i>Tilapia zillii</i>	○				沖縄島、座間味島	1960~1970年代に導入。ナイルティラピアに付随して侵入。観賞用に放流。	(12), 10), 5), 2), 9)	○	●			対策種		
89		ゴクラクギョ	キッシンググラミー	<i>Helostoma temminckii</i>	(○)			沖縄島	定着は確認されていない。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。	(10)	△					区分外		
90			タイワンキンギョ	<i>Macropodus opercularis</i>	○	○			渡嘉敷島、南大東島	1930年代に渡嘉敷島へ移植。南大東島は戦前に移植。沖縄島のものも琉球王朝時代に中国から持ち込まれたとする説もある。県内分布: 沖縄島、久米島、宮古島、石垣島	(12), 4), 10)	○	●	島嶼間移動?		区分外		
91			パールグラミー	<i>Trichogaster leeri</i>	(○)			沖縄島	定着は確認されていない。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。	(10)	△					区分外		
92			スネークスキングラミー	<i>Trichogaster pectoralis</i>	(○)			沖縄島	定着は確認されていない。	(10)	△					区分外		
93			スリースポットグラミー	<i>Trichogaster trichopterus</i>	(○)			沖縄島	1989年に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。定着は確認されていない。	(10)	△					区分外		
94		タイワンドジョウ	カムルチー	<i>Channa argus</i>				○	石垣島	日本へは1923~1924年に導入。全長70~80cmに達する大型魚	(10)	○				区分外		
95			コウタイ	<i>Channa asiatica</i>	○			○	沖縄島、石垣島	1960年代に台湾から石垣島に導入。	(10), 2)	○				区分外		
96			タイワンドジョウ	<i>Channa maculata</i>				○	石垣島	1960年頃に導入。観賞魚の遺棄による侵入と考えられる。	(10), 8), 5), 2), 1)	○				区分外		

平成30年度時点の情報																		
No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】				島名	備考	文献	定着状況	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト	移動種 在来種の国内移動、島嶼間	その他情報			沖縄県における区分
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島							特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種	
97	ガー	ガー	ガー科	<i>Lepisosteidae</i> <i>Gen. spp.</i>	(○)	-	-	-	沖縄島	確認：比謝川、天願川	12)	△	その他 の定着 予防外 来種		●			予防種
98	カワカマス	バイク	ノーザンバイク	<i>Esox lucius</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他 の定着 予防外 来種		●			予防種
99			マスキーバイク	<i>Esox masquinongy</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他 の定着 予防外 来種		●			予防種
100			バイク科	<i>Esocidae spp.</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他 の定着 予防外 来種		●			予防種
101	トウゴロウイワシ	アテリノプシ	ペヘレイ	<i>Odontesthes bonariensis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他 の総合 対策外 来種					予防種
102	タウナギ	タウナギ	琉球列島以外のタウナギ	<i>Monopterus albus</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×						予防種

主な参考文献

- 1) 沖縄県立博物館(1996). 沖縄の帰化動物.
- 2) 沖縄県(2005). 沖縄県の在来の生物に対して悪影響を及ぼす要因. レッドデータおきなわ【動物編】付属資料.
- 3) 環境省(2013). 行政資料. 奄美・琉球の島別外来種の分布情報を集めています, 現在の分布情報の現状(平成25年9月現在).
- 4) 幸地 良仁(2003). 池沼・ダム湖・河川の魚類. 琉球列島の陸水生物. 東海大学出版会. 東京都
- 5) 国立研究開発法人 国立環境研究所. 侵入生物データベース
- 6) 佐藤文保(2005). 久米島に侵入した自然界のエイリアン(移入種)の記録. 久米島自然文化センター紀要, 5: 27-35
- 7) 嶋津信彦(2014). 2004年夏に実施した調査による座間味島、阿嘉島、外地島からの陸水動物の分布記録. Fauna Ryukyuana, 15: 1-4.
- 8) 嶋津信彦(2015). 2015年に南西諸島で確認された外来魚・純淡水魚の分布(速報). 第十一回外来魚情報交換会.
- 9) 立原一憲(2006). 沖縄県における外来魚の侵入と生態系の攪乱に関する研究. 平成15年度～平成17年度科学研究費補助金((基盤研究C))研究成果報告書.
- 10) 吉郷英範(2014). 琉球列島産陸水性魚類相および文献目録. Fauna Ryukyuana, 9: 1-153.
- 11) 奥土晴夫(2000). 南大東島の自然. ニライ社. 沖縄県
- 12) 嶋津信彦(2016). 沖縄島の外来魚ガイド. しまづ外来魚研究所. 沖縄県